

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話：+81-45-717-8575

中国ニードルコークス市場の近況

(2022年2月)

2月に入って中国のニードルコークス市況は改善しており、国際原油価格の値上がりを受けて国内のニードルコークス（以下、「NC」）価格は1トン当たり約1,000元（約18,000円）値上がりした。

1. 価格

2月のNC価格は下記の通りである。

表1 中国国産NC価格（2022年2月）

1元=18.3円で換算、以下同。

	人民元 (元/トン)	日本円 (万円/トン)
石炭系	10,500~11,500	19.2~21.0
石油系	11,700~13,000	21.4~23.8
ニップル用	15,000	27.5
負極用	7,500~8,500	13.7~15.6

出典：ICC 整理

表2 輸入NC価格（2022年2月）

1ドル=115.5円で換算、以下同。

		ドル (ドル/トン)	日本円 (万円/トン)
石炭系	日本	1,700~1,900	19.6~21.9
	韓国	1,450~1,550	16.7~17.9
石油系	日本	2,500~2,800	28.9~32.3
	イギリス	1,800~2,000	20.8~23.1
負極用		1,100~1,400	12.7~16.2

出典：ICC 整理

2. 下流市場

春節連休(2022年1月31日~2月6日)明けの黒鉛電極価格は1トン当たり2000~3000元値上がりし、UHP600mmの主流価格は1トン当たり2.6~2.7万元(47.6~49.4万円)だった。

負極材料価格は春節前に20%上昇したが、春節後は安定して推移している。1トン当たりの2月の価格はローエンド3.8~4.5万元(69.5~82.4万円)、ミッドレンジ5.5万元(100.7万円)だった。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20-3-301

お問合せ電話 : +81-45-717-8575

3. NC 価格の見通し

負極材料の需給逼迫は 2022 年も続くと見込まれるため、需要高まりとコスト高を受けて負極材料用 NC の価格は値上がりし、1 万元/トン（18.3 万円/トン）を超えると予想されている。

鉄鋼メーカーは原料価格の上昇を受けて黒鉛電力の値上がりを予測し、3 月の集中購買期間に黒鉛電極の備蓄増加を検討している。加えて、3 月には電気炉の稼働率も上昇すると予想されている。

黒鉛電力の需要高まりと値上がりの影響で、3～6 月の NC 価格は上昇傾向にあり、2,000～4,000 元/トン（3.7～7.3 万円/トン）の値上がりが予測されている。NC の輸出価格は 2,000～2,300 ドル/トン（23.1～26.6 万円/トン）に達する見通しである。

中国情報により CMI 社が編集